令和4年度
新卒採用内定後の「事前研修」現状調査

調査実施：（福）静岡県社会福祉協議会
静岡県社会福祉人材センター
しずおか保育士保育所支援センター

調査概要

調査期間	令和４年５月２日から６月１３日
調査目的	新卒採用内定後の「事前研修」の実施状況や職員定着のための取組等を把握し、本センターにおける保育士の確保・定着に関する取組の参考とすることを目的とする。
調査方法	ＷＥＢアンケート（Googleフォーム）及び紙媒体のいずれか選択 ※県内保育所（公立園除く）に郵送（759か所） 回答140か所（WEB64カ所　紙76カ所） 内　新卒採用あり　63か所 　　事前研修あり　53か所 ※回答は事業所単位
調査内容	令和４年度の新卒採用内定後の事前研修の状況（新卒採用保育士の人数、事前研修の内容、時期、日数、研修中の賃金、交通費、保険加入の状況） 職員定着のための取組（人材育成・キャリアップ、働きやすい職場環境、福利厚生・休暇取得制度、相談体制、ICTの活用、保育補助者の採用、宿舎借り上げ制度、男性保育士の職場定着の取組） 保育士保育所支援センターへの要望等
研究倫理	依頼文に調査目的と、【事業所が特定されないよう本会ホームページで公開】と明記した。

送付先園種別	園数
保育園	305
小規模保育園	191
認定こども園	197
企業主導型保育園	66
合計	759

回答（地区別　事業所種別数）

地区/事業所種別	保育所	認定こども園	小規模保育事業	企業主導型保育事業	事業所内保育事業	総計
東部	13	12	5	6		36
中部	18	21	10	6	1	57
西部	15	22	8	2		47
総計	46	55	23	14	1	140

回答（定員別　法人・事業所種別数）

法人種別/定員	１人～１９人	２０人～６９人	７０人～９９人	１００人～１９９人	２００人以上	総計
社会福祉法人	4	8	20	39	8	79
保育所		7	17	18	1	43
認定こども園			3	20	7	30
小規模保育事業	2					2
企業主導型保育事業	2	1				3
事業所内保育事業				1		1
学校法人	2	1	2	12	7	24
認定こども園	1		2	12	7	22
小規模保育事業	1					1
企業主導型保育事業		1				1
株式会社	19	5	1	2	1	28
保育所		1	1	1		3
認定こども園				1	1	2
小規模保育事業	17					17
企業主導型保育事業	2	4				6
医療法人	1					1
企業主導型保育事業	1					1
一般社団法人	1					1
企業主導型保育事業	1					1
個人	3					3
小規模保育事業	2					2
家庭的保育事業	1					1
有限会社	3					3
小規模保育事業	1					1
企業主導型保育事業	2					2
宗教法人			1			1
認定こども園			1			1
総計	33	14	24	53	16	140

設問１：貴園に令和４年４月に入職した（新卒採用（常勤）のみ）保育士の人数（男性、女性それぞれ）をお答えください。（例：男性1人、女性2人）

（回答数　63／全数140）

法人種別/新卒採用(事業所数)	女性1人	女性2人	女性3人	女性4人	男性1人	男性1人 女性1人	男性1人 女性2人	男性1人 女性3人	総計
社会福祉法人	26	9	1	1		4	1	1	43
保育所	15	6				3		1	25
認定こども園	10	3	1	1		1	1		17
事業所内保育事業	1								1
学校法人	7	3	2			1	1		14
認定こども園	6	3	2			1	1		13
小規模保育事業	1								1
株式会社	4		1		1				6
保育所			1						1
小規模保育事業	2								2
企業主導型保育事業	2				1				3
総計	37	12	4	1	1	5	2	1	63
男性(採用人数)					1	5	2	1	9
女性(採用人数)	37	24	12	4		5	4	3	89
総計	37	24	12	4	1	10	6	4	98

設問２：採用内定者に対し、入職前に（令和４年３月３１日まで）事前研修を行いましたか。（該当すべてに✓）

（回答数　63／全数140）

法人種別／事前研修	園で行った	園で行った，法人全体で行った	法人全体で行った	特に行っていない	総計
社会福祉法人	24	2	10	7	43
保育所	17	2	5	1	25
認定こども園	7		5	5	17
事業所内保育事業				1	1
学校法人	10	1	2	1	14
認定こども園	10		2	1	13
小規模保育事業		1			1
株式会社	1	2	1	2	6
保育所			1		1
小規模保育事業	1			1	2
企業主導型保育事業		2		1	3
総計	35	5	13	10	63

設問３：事前研修の内容について、簡単にご記入ください。※自由記述

（回答数　51／新卒採用実績あり事業所63）

（主な内容の抜粋）

・法人の成り立ち、理念、方針
・保育内容、リスクマネジメント
・職員の心得・接遇
・就業規則・服務規程
・実務・実習
・保育補助業務を学ぶ
・県保育連合会研修会等外部研修への参加（対面、WEB）
など

設問４：事前研修の時期について、配慮していることはありますか。（該当すべてに✓）

（回答数50／事前実習実施事業所数53）

法人種別/時期の配慮	内定者と相談・同意の上、決めている	学業(カリキュラム)に配慮	学校行事に配慮	学生生活（アルバイト、サークル活動等）に配慮	開始時期は最終学年後期試験終了後としている	空欄	総計
社会福祉法人	26	15	14	9	14	3	81
保育所	17	12	10	7	9	2	57
認定こども園	9	3	4	2	5	1	24
学校法人	12	12	9	8	4	0	45
認定こども園	12	1	9	8	3		33
小規模保育事業		1			1		2
株式会社	3	2	2	2	2	0	11
保育所		1	1	1	1		4
小規模保育事業	1						1
企業主導型保育事業	2	1	1	1	1		6
総計	41	29	25	19	20	3	137

設問5：事前研修の日数についてお答えください。（該当に✓）

（回答数50／事前実習実施事業所数53）

法人種別/研修日数	1日～3日	4日～7日	8日～14日	15日～30日	空欄	総計
社会福祉法人	19	8	5	1	3	36
保育所	10	6	4	1	3	24
認定こども園	9	2	1			12
学校法人	1	2	7	3		13
認定こども園	1	2	6	3		12
小規模保育事業			1			1
株式会社	1	2	1			4
保育所	1					1
小規模保育事業			1			1
企業主導型保育事業		2				2
総計	21	12	13	4	3	53

設問6：新卒採用内定者に対し、事前研修中の賃金・交通費について、支給しましたか。（支給したものすべてに✓）

（回答数46／事前実習実施事業所数53）

	金額等	事業所数
時給	885円～900円	3
	913円	6
	920円	3
	930円	2
	950円	1
	1,000円	4
	1,030円	1
	1,100円	2
	1,138円	1
	1,200円	1
日給	3,500円	1
	4,000円	1
	5,000円	2
	5,500円	2
	6,145円	1
	7,000円	2
交通費	実費	15
	固定・規定による	8
合計		56

その他

- 交通費（実費）、賃金（その他）に加え 弁当代金を支払っている(１件)
- 研修手当時給920円相当の支払い（1件）
- 交通費のみ（1件）
- 給食費のみ（1件）
- 法人が管理しているため不明(2件)
- 時給、交通費等支払っているが金額不明（3件）
- 事前研修は1～3日のため支払っていないが、 アルバイト中（3月）は時給等支払った（1件）

※空欄　（7件）

設問7　新卒採用内定者に対し、事前研修中の傷害保険や損害保険に加入しましたか。（該当に✓）

（回答数46／事前実習実施事業所数53）

法人種別/保険加入状況	園が加入（保険料は園負担）	特に加入していない	非常勤職員として雇用契約を結んでいる（研修期間）	法人本部で行っているため不明	空欄	総計
社会福祉法人	7	20	1	1	7	36
保育所	5	13	1		5	24
認定こども園	2	7		1	2	12
学校法人	5	8				13
認定こども園	5	7				12
小規模保育事業		1				1
株式会社	1	3				4
保育所		1				1
小規模保育事業		1				1
企業主導型保育事業	1	1				2
総計	13	31	1	1	7	53

設問8：事前研修以外に、園の行事等への参加（無償）やアルバイト（有償）を依頼しましたか。（該当するものすべてに✓）

（回答数59／新卒採用有り事業所数63）

法人種別/事前研修以外の行事等への参加	特にしていない	行事への参加を依頼（無償）	アルバイトを依頼（有償）	その他	空欄	総計
社会福祉法人	21	3	11	4	4	43
保育所	13	2	6	1	3	25
認定こども園	8	1	5	2	1	17
事業所内保育事業				1		1
学校法人	6	1	5	3		15
認定こども園	6	1	4	3		14
小規模保育事業			1			1
株式会社	5			1		6
保育所	1					1
小規模保育事業	1			1		2
企業主導型保育事業	3					3
総計	32	4	16	8	4	64

（その他）

- 園行事の参加（有償）
- 3月末の一日だけ他職員と顔合わせ・新年度準備として３時間来てもらう(有償)
- 研修を含めての実習を有償にした。(有償)
- 勤務前に自主実習が希望の学生さんには希望日数及び時間で実習機会を設けている。
- 園内研修への参加（無償）
- 行事への強制参加は依頼しない。本人が希望すれば見学してもよい（無償）
- 行事を案内（参加は任意）
- 自主的に行事に参加してくれた。

設問9：事前研修以外で、新任職員の研修はどのような内容で行っていますか。
特に工夫している点等もご記入ください。※自由記述

（主な内容の抜粋）　（回答数45／新卒採用有り事業所数63）

- 園内研修への参加
  職員・保育士としての心構え、接遇
  年間計画、実技、保育内容、危機管理等
  PC研修
- 外部研修への参加
  県保育連合会の研修
  県保育士会
  県私立幼稚園振興協会
  行政
- 実習、職場体験、アルバイト
- 工夫している点
  コミュニケーションの機会の確保
  不安払しょくのための相談体制の整備
  シスター制度の導入
  相談窓口になる先輩相談保育士を決めている

※入職後と入職前が混在

設問10：職員定着のための取組や職員の業務負担軽減の取組について、実施していることがあれば✓し、（　）内に詳細を記載してください。

（回答数103／全数140）

①人材育成・キャリアアップ

主な意見：法人内階層別研修・園内研修・外部研修・キャリアアップ研修の受講・メンター制度の導入・研修費の補助

- 園内研修、経験年齢別研修、特別支援、専門分野別研修
- 園内研修　外部研修への参加　研修費の補助（旅費、昼食代等）
- 月1回程度の研修を実施
- 入職後2年間はフォローアップする期間として毎月主任等が相談や話し合いを行う
- 先輩保育士と組んでの保育、定期的な研修の受講
- 研修報告をし合う
- 法人内の階層別研修、外部研修への参加
- 人事考課など
- 園内研修・市主催の研修会の参加、キャリアアップ研修への参加
- 積極的な外部研修への参加
- ルクミー（保育の業務改善業務ソフトの販売や研修等を行う民間業者）が行う研修(ZOOM）への参加
- 企業主導型の育成会主催・自治体の研修
- 自主的な研修参加への費用補助・シフト調整　相談しやすい雰囲気作りを心がける
- メンター制度
- 組織力向上を重視、職位、職務内容等を説明・実践
- 職員が興味があるテーマの研修を受講している

設問10：職員定着のための取組や職員の業務負担軽減の取組について、実施していることがあれば✓し、（　）内に詳細を記載してください。

②働きやすい職場環境　（回答数98／全数140）

主な意見：こまめなミーティング、相談体制の整備、ノーコンタクトタイムの導入、残業なし、持ち帰り業務なし、休憩室・駐車場の完備、保育士配置の充実、ICTの活用など

- こまめなミーティング、コミュニケーションを大切にしている
- 昼礼の実施
- 心理士との相談、顧問弁護士・労務士との相談制度
- 幅広い年齢層と経験でいつでも相談フォローの体制
- 定期的な上司との面談を実施、個人面談の実施、年2回の面接
- メンター制の導入
- ノーコンタクトタイムの導入
- 書類や保育準備のための時間を確保
- 残業無し、定時帰宅日の設定、持ち帰り無し
- 休憩室完備、駐車場完備（無料）、賞与4.45か月（R３実績）
- 休暇取得促進、休み希望がとりやすい
- 相談しやすい環境づくり（相談係、情報発信体制の強化）
- 各クラス基準プラス1～3名程度の職員体制、保育士の配置を多くし、業務負担軽減
- 予備保育士の充実
- 市のワークライフバランスを取得
- ICTの導入で業務短縮
- 業務のスリム化

設問10：職員定着のための取組や職員の業務負担軽減の取組について、実施していることがあれば✓し、（　）内に詳細を記載してください。

（回答数97／全数140）

③福利厚生・休暇取得制度

主な意見：総合的な福利厚生の加入、手当、補助の充実、休暇取得の促進など

- ソウェルクラブ、浜松福利厚生センター、わ～くん、ジョイブ等に加入
- 永年勤続表彰
- GLTD（団体長期障害所得補償保険）に加入
- 慰労会の補助
- ユースエール認定
- シングル手当
- 永年お祝い金支給
- 奨学金支援
- 昼食代補助、給食費定額、予防接種の補助、自主研修への補助
- 駐車場無料
- 企業内保育所無料
- 報奨旅行
- 取得資産形成DB手当
- アニバーサリー休暇、誕生日休暇・誕生月に1日休暇の取得
- リフレッシュ・介護・看護・コロナ休暇の取得
- 有休消化の推進7割以上・8割位・9割以上
- 男女問わず育児休暇取得の推奨
- 希望休を取りやすい環境の用意
- 時間単位の有給取得

設問10：職員定着のための取組や職員の業務負担軽減の取組について、実施していることがあれば✓し、（　）内に詳細を記載してください。

④相談体制　（回答数67／全数140）

主な意見：面談の実施、日頃からの声かけ、ハラスメント等に対する相談体制の整備、メンター制度、メンタルヘルス、栄養指導の導入など

- 年２回及び必要時の個人面談・職員面談の実施（月1回、年2回、必要時、年４回、複数回）
- 人事評価として年3回面談を実施
- 定期的な話し合いの場を設けている
- 年1回アンケートを実施
- グループでのコミュニケーションの時間作り
- 園長として、普段から声かけを心掛けている
- ハラスメント等の相談体制を整えている
- 年の近い人が相談係となっている。相談係経験者による相談係のサポート体制もあり。
- 本社に相談役を立てている
- 指導職員担当制
- メンター制度の導入
- プリセプター制度
- シスターブラザー担当（相談者）制
- メンタルヘルス、栄養指導など
- 法人でメンタルヘルス推進室、栄養指導相談等あり
- 公認心理士による相談　2回／月（2022.2月～）

設問10：職員定着のための取組や職員の業務負担軽減の取組について、実施していることがあれば✓し、（　）内に詳細を記載してください。

（回答数87／全数140）

⑤ICTの活用

主な意見：ＰＣの貸与、保護者との連絡、登降園、出席簿、日案、月案等の記録の管理、午睡チェック、アプリ等の活用

- 各クラス、各保育士にノートPCを配布（貸与）
- 保護者との連絡、指導案等帳票、園児の成長記録等の管理
- 登降園、出席簿、日案、月案等パソコンにて記入
- 相互チェッカー、登降園管理、金銭管理、写真管理
- アプリ・SNS等を利用した、仕事の効率化・情報を共有
- 園の情報管理、午睡チェックなどICTシステムの導入
- 月案、週日案、出席簿、身体測定結果などキッズビューを活用
- パステルAPPS(園児管理システム）、ホイミン(午睡チェック）、ナノティ(社内日報システム）、ルクミーフォト（登降園、連絡帳のアプリ化、午睡チェック等総合サービス）の使用
- 市の補助を得て今年度より実施を始める

設問10：職員定着のための取組や職員の業務負担軽減の取組について、実施していることがあれば✓し、（　）内に詳細を記載してください。

⑥保育補助者（無資格者）の採用

（回答数54／全数140）

法人種別/定員	１人～１９人	２０人～６９人	７０人～９９人	１００人～１９９人	２００人以上	総計
社会福祉法人		4	11	13	3	31
保育所		3	9	5		17
認定こども園			2	7	3	12
企業主導型保育事業		1				1
事業所内保育事業				1		1
学校法人	1			2	3	6
認定こども園	1			2	3	6
株式会社	7	1	1	2	1	12
保育所			1	1		2
認定こども園				1	1	2
小規模保育事業	7					7
企業主導型保育事業		1				1
医療法人	1					1
企業主導型保育事業	1					1
一般社団法人	1					1
企業主導型保育事業	1					1
個人	2					2
小規模保育事業	1					1
家庭的保育事業	1					1
有限会社	1					1
企業主導型保育事業	1					1
総計	13	5	12	17	7	54

※自由記述
保育補助業務の内容

- 早遅番保育に従事
- 清掃、遊具の消毒、エアコン掃除、窓掃除、洗濯、配膳業務、離乳食の準備
- 通訳、英語講師
- 清掃は地域の高齢者に業務委託している
- アテンダント、事務員、障がい者雇用
- 希望者は保育士試験を法人が受験代を負担
- 子育て支援員の採用

設問10：職員定着のための取組や職員の業務負担軽減の取組について、実施していることがあれば✓し、（　）内に詳細を記載してください。

⑦宿舎借り上げ制度

（回答数16／全数140）

法人種別/定員	1人~19人	20人~69人	70人~99人	100人~199人	200人以上	総計
社会福祉法人			2	7	1	10
保育所			2			2
認定こども園				7	1	8
学校法人				3	1	4
認定こども園				3	1	4
株式会社	2					2
小規模保育事業	2					2
総計	2	0	2	10	2	16

地域	沼津市	三島市	静岡市	浜松市	合計
力所数	1	1	2	12	16

※自由記述
- 浜松市の補助を受け、多くの職員が利用している
- 希望者は利用している
- 法人で実施
- 距離数に応じて対応
- 県外からの場合、上限5万
- 通勤不可能な職員に実施している

※他意見
県外出身者以外にも適応してください

設問10：職員定着のための取組や職員の業務負担軽減の取組について、実施していることがあれば✓し、（　）内に詳細を記載してください。

⑧男性保育士の職場定着の取組

（回答数24／全数140）

法人種別/定員	1人~19人	20人~69人	70人~99人	100人~199人	200人以上	総計
社会福祉法人			4	9	2	15
保育所			4	3		7
認定こども園				6	2	8
学校法人	1			3	1	5
認定こども園	1			3	1	5
株式会社	2		1		1	4
保育所			1			1
認定こども園					1	1
小規模保育事業	2					2
総計	3	0	5	12	4	24

※自由記述

- 男性職員も育休等取れるようにしている・推奨している
- 男性の主幹教諭が常に相談にのっている
- 交流の機会
- 男性保育士の積極的採用
- OJTの活用。
- 男性用更衣室とトイレを設置予定
- 扶養手当の支給、男性保育士だからできることを認識させる（本人、周囲）
- 男性保育士1名勤務（今年3年目）
- 特技や長所を生かして人事
- 今年度初めて採用。定着の取組はこれから。

他意見

※施設設備的にも難しいため、導入予定なし

※一般職との給与差で男性は定着しない。
　定着する場合は奥さんが公務員か看護師など

設問11：しずおか保育士・保育所支援センターへの要望等ございましたら、ご自由にご記入ください。

（回答数19／全数140）

（センターへの要望）保育士の確保、学生との意見交換、就職希望者の掘り起こし、魅力発信など

- 毎日のように企業から人材を紹介されますが、ミスマッチが多く感じます。センターの役割は大きいと思います。
- センター主催のお仕事フェアで採用に至ったケースもあり、求職者の意識も高いように感じます。今後も継続していただけると嬉しいです。
- 保育士の確保が大変です。その理由として、人材バンクへの登録へ流れていることが大きいと思っています。そちらを活用した場合、紹介料が70～80万円かかります。
- 対面でもオンラインでも学生との接点を増やす取り組みがほしい、学生の意識とか傾向を知りたい。
- 保育現場での就職希望者の掘り出し掘り起こしと、その人材の現場への紹介を是非願いたい。
- 保育の人材確保が深刻です。養成校も定員割れと聞いています。保育士、保育教諭の魅力PRをお願いしたいです。
- 言いにくいので愛称を作って欲しい。ピッピ静岡とか、保育浜松とか、
- "新卒者の獲得が難しくなっているので、今回のアンケート調査結果など反映できたらと思います。また、よりよい方法、情報がありましたら、発信していただけたら参考にしていきたいと思います。
- いつもありがとうございます。

（行政への要望）

- 各歳児クラスに問題のある子どもが1～3人いる。市から紹介される段階で子どもの問題をとらえるように進言して欲しい。
- 大変お世話になっています。宿舎借り上げを市外出身者(大学関係なく）に適応してほしいです。（就職後3～5年・1～2万円で）

設問３：事前研修の内容について、簡単にご記入ください。※自由記述（全文）
※(保)＝保育所　(認)＝認定こども園　(小)＝小規模保育事業　(企)＝企業主導型保育事業

（法人理念・方針・保育内容・職員の心得・就業規則・服務規程等）

- 法人の概要と保育内容(保)
- 法人の理念他(保)
- 方針　など(保)
- 法人全体の概要・理念、保育所の役割について、個人情報保護法・虐待防止・権利擁護について、健康診断(保)
- 仕事の流れ、安全指導、園児の取り扱い等(認)
- 園の方針、具体的な職務内容を学ぶ(保)
- 園の成り立ち・理念から簡単な業務内容まで。(企)
- 園方針や園のルール・保育の実技研修・子どもや保護者対応・社会人としてのマナーや言葉遣い・職務内容を学ぶ 等…(認)
- 園の方針について、職務の心得、現場での研修など(認)
- 事業計画書について・園の概要・一日の流れ・勤務について・実習(小)
- 法人の歴史・理念、各施設概要、就業規則・給与規定・人事考課について、接遇、保護者対応、「子どもを尊重する保育」について(認)
- 法人の歴史、保育とは、年齢別保育（乳児・保育)、指導とは、保護者との関係…他(認)
- "規定説明・接遇・リスクマネジメント・法人保育士心得など。0 歳児クラスにおいて、ミルクの作り方、おむつの替え方の実体験食事の様子見学。1 歳児・2 歳児保育体験。実際に受け持つクラスの会議へ参加。(保)
- 保育教諭としての心構えの話を聞いたり、新学期の準備を教わりながら、本園の保育カリキュラム等を勉強しました。(認)
- 主任より、園業務にスムーズに入れるよう説明をしている(保)
- 保育方針、環境構成、実際に勤務する(保)
- 園の方針について、職務の心得、現場での研修など(認)
- 就業規則について(保)
- 就業規則、園の特徴等ガイダンス(保)
- 接遇訓練、就業規則、服務規定について(認)
- 就業規則を説明する。(保)
- 服務の説明　(認)
- 新任職員の心得　・服務について(保)
- "会社にて新人研修　コンプライアンスなど。園にて現場研修(企)
- 社会人として　保育士専門職として　園マニュアル　就業規則説明　等(保)
- マナー研修、社会人としてのノウハウ、グループ討議(保)
- 接遇とマナー　・職員としての決意　・職場の報・連・相(認)
- 保育士としてのマナー・心得・持ち物・園の保育方針や保育の内容等を伝える。わかりやすいよう書面・本等を事前に読んでおいてもらい、入所前の１ヶ月（3 月）はアルバイトとしてきてもらった。(時給)（認)
- 勤務体制、職員の役割、保育教諭としての心得等(認)

（実務・実習）

- 学年別保育見学・保育研修・バス添乗等(認)
- 実習をやり、その都度、色々な事を伝えている。(認)
- 事前研修として座学は行わないが、2 月～3 月の間、実際の現場に入り経験する（研修）(認)
- 実務をとおして、業務のながれを把握するとともに、子どもたちや保護者への対応の仕方などを先輩職員から見て、聞いて、入職以降の不安を軽減していただき、園の保育方針や大切にしている事を 1 日の流れの中で場面ごとに具体的に説明した(認)
- 保育実習　早番、遅番の練習(保)
- 開演準備、預かり保育(小)
- 担当クラスに入り、保育の援助を行う。(保)
- 提出書類の受けとり　・労務についての説明　・3 月末の事前実習の日程説明とその内容など(保)
- 乳幼児の保育の実務等(保)
- 業務をひととおり覚える(認)
- 1 週間現場に入り研修をしてもらいました。(保)
- 採用後担当するクラスに入り、その年齢の様子や生活の流れ、保育者の動きなどを見ることが主となっている。(認)
- ボランティア実習(認)
- 会議の練習、面談、グループ（会社）説明(保)

（県保連研修会・外部ＷＥＢ研修への参加）

- 県保育連合会新規採用職員研修会参加、園内での新人研修等。(保)
- 静岡県保育連合会では、就職内定の新卒生に毎年 2 月、東部、中部、西部の 3 地区に分けて事前研修をしております。(保)
- 静岡県保育連合会の新規採用予定職員研修会に参加させている。本年は WEB 配信 2/21-2/22 の 2 日間と現場での保育実習(保)
- 県保連新規採用者研修、新年度担当才児クラスにて研修(保)
- 主任より園の概要を口頭にて説明。乳児クラスに実際に入り、先輩について保育。初任者向けの外部研修を WEB にて受講(保)

（保育補助業務を学ぶ）

- 保育補助(認)
- 様々なクラスに入り、保育補助として参加する。保育者の仕事を学ぶ。(認)
- 実際にクラスに入り、補助の対応をしながら園の保育を学ぶ（子どもへのかかわり方、援助の方法等）(認)

設問９：事前研修以外で、新任職員の研修はどのような内容で行っていますか。特に工夫している点等もご記入ください。※自由記述（全文）

※(保)＝保育所　(認)=認定こども園　(小)＝小規模保育事業　(企)＝企業主導型保育事業　(事)= 事業所内保育事業

（園内研修・外部研修への参加）

- 社内研修　ＯＪＴ 行政主催の研修　(企)
- 法人として大事にしている事の共有　(保)
- 4 月以降に新人研修として①自園の保育の仕方　②業務や運営の構成について説明します。(保)
- 接遇を意識した内容(保)
- 各園にて園長により実務の研修、新社会人としての基本を社外のセミナーにて研修(小)
- 年２回ある全職員参加型の園内研修のうち、２回目に当たる１月末土曜日の園内研修へのお誘い（新規採用職員は強制参加ではありませんし、不参加の方もいました）し、内定者の出席者がいれば新規採用職員紹介の時間を取ったり、研修が出来るであろう内容で且つその時間帯のみ参加をお願いした事もあります。(円滑な職員集団作り、コミュニケーションの機会としました。)（保）
- 1 年目の職員に対しては、法人本部主催で 5～6 月に 2 日間、10～11 月に 1 日かけて行っています。
  1 回目は「新人の役割と SDCA サイクル」「コミュニケーションの原則」など
  2 回目は「メンバーシップ」「チームメンバーとしての役割と果たし方」など(認)
- 園において、保育園における勤務のマナーについて
- 年齢ごとの保育の大切な事の説明(保)
- 事前研修は外部の新規職員研修に参加し、園内研修は保育園就職後園目標や労務、業務に関して研修を行っている。また、新人保育士のありがちな日常を描いた本を貸している。ほか、特に不安に思うことの解消や新人にありがちな状況の例を話し合ったりする。(認)
- 来年度からは、「全体的計画」についての説明をふまえ、、園の目標、重点目標、手だて等、話をしていきたい。(認)
- ノートに新任職員に記入してもらい、次の日に同じクラスの先輩からのアドバイスを記入しています。(全員）一年間続けます。一年で育たない人は、二年目も実施。(保)
- 法人全体で新規採用職員向けの研修を年間通じて実施(認)
- 法人、園の理念、基本方針は全職員の研修の中で行い、グループ討議等を通して理解が深まるようにしている。書類については主任又は副主任が書き方を指導しその際パソコン等の使い方も教えている。実技の研修は得意な職員が参加し、作る楽しさが体験できるようにしている。(保)
- 法人のキャリアアップ研修、外部研修に参加(保)
- マニュアルを現職員と確認→園都合で残念ながら実施出来ず　(認)
- 県私立幼稚園振興協会主催の初任者研修に参加するとともに、2～3 年目の先輩職員が、分からないことや不安なことなど心配なことに相談に乗れる体制をとれる様にしている　(認)

- 県保育連合会で実施している研修会（ZOOM）を受けて、日程を決め 2 時間くらいの中で話をする。3 月卒園式に参加（様子をみる）又、以降 3 月末まで研修機関として実際仕事（研修）を行う。(認)
- 静岡県保育連合会の新規採用職員研修への参加(福)（保）
- 県保連主催の新規採用予定職員研修会に参加させている(認)
- 保育士会の新人研修(保)
- 県保育士協会で行っている新入職員研修への参加等は行っている(保)
- 保育士会主催の新任職員の研修、オンライン研修、市からの療育の研修など(認)
- 外部の研修　(認)
- 園内でも、感染対策・子どもの発達や遊びについての研修を行い、他保育士と共有したり、交流を図っている。病院の感染対策室の方に来てもらい「嘔吐処理の仕方」を実践で学んだり、外部講師を招いて「言葉遣いや電話対応の仕方」などのマナー教室を行っている。園・病院外の研修にも機会があれば参加している。(実技・環境・発達・危機管理等)(事)
- 業務や理念を学ぶ　(認)

（実習、職場体験、アルバイト）

- 実習として、勤務や生活の流れ等に慣れてもらっている(認)
- 保育ボランティアでの受入れ　(認)
- なるべく多くの経験ができるよう様々な学年､職員､園児とかかわるようにする　(認)
- 事前に行事に参加することができるため、流れを把握出来る　(小)
- 入職前に実習をする(福)（認）
- 4／1 の入職日より 3 日間、病院としての理念や基本方針のほかに医療安全・感染予防・コンプライアンス・防災などの研修を行っている。また新人研修として 1 年を通じて BLS や病院の他の職種の方との交流を持てる機会に参加している(病院での研修)
- 保育教諭としての心得の読み合わせ、早番遅番の体験(福)（認）
- アルバイトとして採用前から働き､仕事内容を知ってもらえるような環境がある。（認）
- 事前に職場を体験してもらう。　(保)
- 職場実習できた学生を採用したので、実習の様子を加味し、適したクラス、指導員と組めるよう配慮した。　(保)

（工夫している点）

- 社会人として又保育者としての心がまえ。園内に 1 名、又園外（法人内）に 1 名、相談できる存在を設定している。書類等は、基本は 1 年間指導担当者が支援していく。(認)
- シスター制度を設け、入社後も相談窓口になる先輩をつけています。(企)
- 事前研修だけでなく、保育に入っている間も相談にのってくださる先生を決めて実践の中でも研修的な話し合い等を行う。(認)
- 法人新入職員研修へ参加、プリセプターによる丁寧な関わり(保)
- 不安なことなどを聞き取り一人一人にあった内容にする(保)